

I. 私たちは、キリストを私たちの命、私たちのパースンとして経験するために、私たちがキリストと一つの地位、一つの命、一つの生活、一つの運命、一つの栄光を持っていることを見る必要があります:

コロサイ 3:1 こういうわけで、もしあなたがたがキリストと共に復活させられたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストがいて、神の右に座しておられます。2 あなたがたの思いを、地にあるものではなく、上にあるものに置きなさい。

- A) 私たちの地位は、私たちがキリストの中にいるということです。私たちは、キリストの中にいるので、キリストがおられる所にいます。すなわち、神の右に座しているのです: ①御子の地位は御父の中にあります。私たちは、御子の中にいるので、御父の中にもいます。②私たちは霊の中にいるとき、実際上また経験上、キリストの中におり、御父の中におり、天にいます: a. 天のキリストから地上の私たちに対して、私たちの霊の中のすべてを含む霊によって、伝達が起こっています。b. 天の御座に座しているまさにそのキリストは、今や私たちの中に、すなわち私たちの霊の中にもおられます。この霊の中に神の住まいがあります。c. 今日私たちの霊は、神の住まいの場所であるので、それは今や天の門です。そこにおいてキリストははしごであって、私たちを天に結び付け、天を私たちにもたらしめます。d. 私たちは霊に戻るときはいつでも、天のはしごとしてのキリストを通して、天の門を通して入り、天にある恵みの御座に触れます。私たちの霊は神聖な伝達を受ける一端であり、神の御座は伝達する一端です。
- B) 神の命はキリストの命であり、キリストの命は私たちの命となりました: ①キリストが私たちの命であることが意味するのは、彼が私たちにとって極みまで主観的であるということです。②人とその人の命を分離することは不可能です。なぜなら、人の命は人そのものであるからです。こういうわけで、キリストが私たちの命であると言うことが意味するのは、キリストが私たちとなり、私たちが彼と共に一つの命と生活を持っているということです。③信者たちの命としてのキリストには、この命と天然の命を区別する三つの特徴があります: a. この命は、十字架につけられた命です。b. この命は、復活の命です。c. この命は、神の中に隠されている命です。 コロサイ 3:3 なぜなら、あなたがたは死んだのであり、あなたがたの命は、キリストと共に神の中に隠されているからです。

- 4 私たちの命なるキリストが現される時、あなたがたも、彼と共に栄光のうちに現されます。
- C) 上にあるものを求め、私たちの思いをその上に置くことは、自分自身を主の天の務め、すなわち主の神聖な事業と結合させることです。これは一人の新しい人のためにキリストを生きたこと、キリストの生活と一である生活をするということです: ①今日キリストは彼の天の務めにおいて、大祭司として生きて、諸召会のためにとりなしています。 ヘブル 8:1 私たちにはそのような大祭司がおられ、彼は天で威光ある方の座の右に着き、7:25 こういうわけで、彼を通して神に進み出る者たちを、彼は極みまで救うことができます。なぜなら、彼はいつも生きていて、彼らのためにとりなしておられるからです。 コロサイ 4:2 うまずたゆまず祈り、感謝しつつ祈りの中で目を覚ましていなさい。 ②今日キリストは彼の天の務めにおいて、天の奉仕者として生きて、キリストの豊富を聖徒たちに供給しています。③今日キリストは彼の天の務めにおいて、神の定められた御旨を完成するために神の行政の宇宙的な管理者として生きています: a. 天の御座から、神聖な伝達が上にあるものを諸地方召会の中へともたらしめます。b. 啓示録第4章と第5章には中央政府のビジョンがあり、啓示録第1章から第3章には、「大使館」としての諸地方召会のビジョンがあります。七つの霊を通して、天の本部にあるものが大使館としての諸召会の中へと伝達されています。c. 諸地方召会において起こることは、天の神の御座の導きの下にあるべきです。回復が「主の」回復であるために、それは彼の導きの下になければなりません。

適用: 思いを霊に付けるとは、思いを上にあるものに置くことです。キリストは今、天で大祭司、天の奉仕者、神の行政の宇宙的な管理者として働いておられます。私たちは上にあるものに思いを置き、上にあるものを求めるべきです。私たちは日常の学生生活、ビジネス・ライフ、結婚生活において、証しがあるべきです。そのために、私たちはまず献身を更新し、自分のために生きるのではなく、神と神のエコノミーのために地上で生きるべきです。神のエコノミーのために生きるとは、私たちが上にあるものを求め、思いを上にあるものに置き、神聖な事業と自分を結合させることです。そうすれば、あなたのビジネス・ライフは神聖な事業のゆえに祝福されるでしょう。アーメン! マタイ 6:32 なぜなら、これらの物(衣食等の生活の必要)はすべて、異邦人が切に求めているからである。あなたがたの天の父は、これらの物がすべてあなたがたに必要なであることを、ご存知である。

33 むしろ、まず父の王国と父の義を求めなさい。そうすれば、これらの物はすべて、あなたがたに加えられる。

- D) 私たちの運命は栄光です。キリストが私たちを栄光の中へと導いているのは、私たちが彼と共に栄光のうちに現されるためです。 ヘブル 2:10 多くの子たちを栄光へ導き入れるのに、彼らの救いの創始者を、苦難を通して成就されるのは、彼こそふさわしいことでした。

II. 私たちの命は、私たちの内側に住むキリストであり、この命はキリストと共に神の中に隠されています。神の中に隠されているキリストは、金のつぼの中に隠されたマナによって予表されています:

啓示録 2:17 耳のある者は、その霊が諸召会に言われることを聞くがよい。勝利を得る者には、あの隠されたマナを与えよう。また白い石を与えよう。その石の上には、それを受ける者のほか、だれも知らない新しい名が記されている。

- A) 隠されたマナとしてのキリストは、金のつぼとしての父なる神の中におられます。御父は契約の箱としてのキリストの中におられ、キリストは神性と人性の二つの性質を持っています。内住する霊としてのキリストは、私たちの再生された霊の中に生きており、至聖所の実際となっています。
- B) 私たちは隠されたマナとしてのキリストを食べるとき、彼の中へと合併されて神と人の相互の住まいとなります。

III. キリストが私たちの命であることが強く示しているのは、私たちが彼を命とし、彼によって生きるべきであるということと、私たちが日常生活において彼を生きたべきであるということです:

- A) キリストは実際上、また経験上私たちの命でなければなりません。日ごとに私たちは彼の命の中で救われる必要があります: ローマ 5:10 というのは、私たちが敵であった時に、神の御子の死を通して神に和解させられたからには、和解させられている今、さらにいっそう彼の命の中で救われるからです。 ①神聖な命の中で救われて、罪の奴隷状態、罪の法則から離れることは、究極的に完成された霊の法則の解放によります。②神聖な命の中で救われて、この世の現在の時代から離れることは、究極的に完成された霊の聖別によります。 ローマ 12:2 またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、…を、あなたがたがわかまえるようになるためです。③神聖な命の中で救われて、私たちの天然の存在から離れることは、命を与える霊の造り変えによります。④神聖な命の中で救われて、個人主義から離れることは、キリストのからだの中で建造されることによります。 ローマ 12:5 私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。⑤神聖な命の中で救われて、自己の様から離れることは、命を分け与える霊の同形化によります。 ローマ 8:29 なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。⑥神聖な命の中で救われて、私たちの卑しい体から離れることは、神聖な命の美德における変貌によります。 ローマ 8:30 そして神はあらかじめ定めた者たちを、さらに召し、そして召した者たちを、さらに義とし、そして義とした者たちを、さらに栄光化されました。⑦神聖な命の中で救われることは、神聖な命の中で王として支配することです。⑧神聖な命の中で救われることは、サタンに勝利するという結果になります。
- B) 新しい人は、私たちがキリストを私たちの命とし、彼を生きたことの自然な結果です。 コロサイ 3:10 新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしがたって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。 11 その新しい人には、…キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。

経験①:内側で主観的にキリストを命として経験する

キリストが私たちの命であることが意味するのは、彼が私たちにとって極みまで主観的であるということです。私たちの命ほど、私たちにとって主観的で、私たちと親密な関係にあるものはありません。私たちの命は、実は私たち自身です。人とその人の命を分離することは不可能です。

信者たちの命としてのキリストには三つの特徴があります。第一に、この命は、十字架につけられた命です。主イエスは地上にいたとき、常に十字架につけられた命を生きておられました。私たちは真にキリストを私たちの命として経験するなら、また十字架につけられた命を生きます。そのような十字架につけられた命は、手順を経て徹底的に対処された命です。私たちの命としてのキリストの第二の特徴は、この命が、復活の命であることです。何も、死を含めて、それを押さえつけることはできません。最後に、これは神の中に隠されている命です。神聖な命だけが神の中に隠されていることができます。私たちはキリストを私たちの命として経験するなら、召会の中で行なうことは、見せびらかす方法でなされるのではなく、むしろ神の中に隠されている命によってなされるでしょう。

在職青年編

ガラテヤ2:20 私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです。そして私は今、肉体の中で生きているその命を、私を愛し、私のためにご自身を捨ててくださった神の御子の信仰の中で生きるのです。

キリストはあなたの命であるので、あなたは職場で主観的にキリストを経験することができます。この命としてのキリストには三つの特徴があります。第一番目は十字架に付けられた命です。職場環境において同僚や上司がいます。さまざまな人と調和して仕事を行うために自分の個性が突出してはいけませんし、消極的になってもいけません。このような時、キリストの十字架に付けられた命を経験して下さい。キリストの十字架の中で、古い人は終わらされました。あなたは主に開き、主の御名を呼び、十字架に付けられた命を経験して下さい。

第二番目は復活の命です。十字架に付けられた命を経験すると、復活の命がやって来ます。この復活の命はさまざまな業務上の障壁を突破する力があります。なぜなら最大の障壁は死であり、復活の命は死に打ち勝った命であるからです。

兄弟の証し:私は営業で病院を回っています。ある案件で上司の指示通り実行したのですが、ある病院の担当医師を怒らせてしまいました。私はこの原因は上司にあると考えて、なかなかその医師に謝罪しに行くことができませんでした。しかし主と交わり、自分にも足りないことがあったのではないかとこのことに気付いたので、決心して誠実な態度で謝罪しに行きました。その医師は激怒していましたが、謝罪の後、良い人間関係が築けるようになりました。結局この医師が私を大いにサポートして下さいました。主に感謝します。

第三番目は神の中に隠されている命です。ビジネス・パーソンとしてあなたはほとんどない困難に出くわしたり、上司にいじめられたりすることがあるかもしれませんが、このような環境があっても、あなたはいつもと同じように祈りの集会に参加し、兄弟姉妹を祝福するために訪問したり、主日の集会に参加して、他の人の建造、励まし、慰めのために神の言葉を語ってください。困難な状況について祈ったり、またある聖徒たちに祈ってもらったりすることは必要ですが、あなたはいつも喜びを維持し、何もなかったかのようにいつもと同じ様に召会生活を実行するべきです。後になってあなたが証しをする時、大部分の聖徒たちはあなたにそのような困難が臨んでいたことを初めて知るでしょう。あなたの内側の命であるキリストは神の中に隠された命であり、奥義的な命です。あなたが命としてのキリストを経験する時、あなたは人にとって奥義的な人になるでしょう。

経験②:肉に付けた思いは死であるが、霊に付けた思いは命と平安である

私たちがキリストの神聖な命の中で救われて、私たちの天然の存在から離れることは、命を与える霊の造り変えによります(12:2 後半)。造り変えは、単に外側の現れの変化ではありません。造り変えは、内側の、新陳代謝的な変化であり、それは有機的なことと関係があります。造り変えは、私たちの思いが新しくされることによります(2 節後半)。以前、私たちの思いは肉に付けられていました。今や、私たちは自分の思いを霊に付けることによって、その位置を変えなければなりません。霊に付けた思いは命と平安です(8:6)。私たちの思いの位置を変えることは、私たちの思いを造り変えます。

私たちが造り変えられるのは、神聖な命の要素の中の新陳代謝によります。キリストは私たちの命です。どの種類の有機的な命にも有機的な要素があります。キリストは、私たちの内側で成長し、私たちが造り変える有機的な要素です。

中高生編

ローマ8:6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。

12:1 兄弟たちよ、こういうわけで、私は神の慈しみを通して、あなたがたに勧めます。あなたがたの体を、神に喜ばれる、聖なる、生きた犠牲としてささげなさい。それが、あなたがたの理にかなった奉仕です。2 またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわかまえるようになるためです。3 私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがた一人一人に言います。自分自身について思うべきことを超えて、思い上がることなく、むしろ神がそれぞれに割り当てられた信仰の度量にしたがって、冷静な思いで思うべきです。

中高生の時から、あなたは思いを肉に付けるのではなく、霊に付けることを訓練してください。思いを肉に付けると、さまよがあり、むなしさがあり、サタンから来る情欲による誘惑がありますので、その結果は死です。しかしあなたが思いを霊に付けるなら、その結果は命と平安になります。このように思いの立ち位置を変えることで、あなたはキリストを経験し、祝福されます。

例えば勉強が嫌になり、逃避しようとする考えが思いの中に起こります。これは実は思いを肉に付けることです。勉強が難しく、なかなか成績が上がらないというのは事実です。この事実を無視したり、否定したりするのではなく、ただ単純に、ありのままに、思いを霊につけて祈って下さい。「主イエスよ、私は受験のことを考えると不安でたまりません。しかし私は逃避することは出来ません。そうするとずっと悪くなってしまうからです。私は思いを開き、思いを霊に付けます。主よ、私の霊から私の思いにあなたご自身と復活の力を分与して下さい。私が思いを肉に付けるのではなく、霊に付けることを訓練し、キリストを受験勉強の中で経験して、受験勉強が祝福されますように。アーメン」。

ローマ5:10 というのは、私たちが敵であった時に、神の御子の死を通して神に和解させられたからには、和解させられている今、さらにいつそ彼の命の中で救われるからです。

あなたは主の中へと信じて、パプテスマされ救われました。救われた今、あなたは命の中で日々救われる必要があります。あなたはこの世の墮落した潮流から、あなたの中にある若い時の情欲から、あなたの消極的な思想から、あなたの中にある高ぶりから、あなたの内側にある個人主義などから命の中で救われることを経験して下さい。